

早期胃癌内視鏡的根治度 C-2 患者では追加外科切除が標準治療だが、そのリンパ節転移率は5-10%とされている。そこで、同患者のリンパ節転移リスク層別化のため、eCura system が開発された。eCura system は、リンパ管侵襲を3点、腫瘍径 >30mm・粘膜下層浸潤 $\geq$  500 $\mu$ m (SM2)・静脈侵襲・垂直断端陽性をそれぞれ1点とした計7点のスコアリングシステムであり、0-1点を低リスク(リンパ節転移率2.5%)、2-4点を中リスク(同6.7%)、5-7点を高リスク(同22.7%)としている。eCura system は胃癌死の予測に有用だが、SM未分化成分を有する患者ではeCura system でリンパ節転移リスクが若干上昇することに注意する必要がある。また、胃癌患者が高齢化してきていることから、今後は高齢早期胃癌患者に対する患者側因子も含めた生命予後/QOL低下予測システムの開発が望まれる。

## eCura system

### — 早期胃癌内視鏡的根治度 C-2 患者におけるリンパ節転移リスクスコアリングシステム —

#### Key words

早期胃癌 / 内視鏡的根治度 C-2 / eCura system /  
リンパ節転移 / 高齢者

助教

八田和久<sup>1)</sup>

Waku HATTA

教授

後藤田卓志<sup>2)</sup>

Takuji GOTODA

准教授

小池智幸<sup>1)</sup>

Tomoyuki KOIKE

教授

正宗 淳<sup>1)</sup>

Atsushi MASAMUNE

1) 東北大学大学院医学系研究科消化器病態学分野

2) 日本大学医学部内科学系消化器肝臓内科学分野